

会議録（会議結果概要）

名称	第1回 各務原市緑の基本計画策定委員会
開催日時	令和6年10月3日（水） 15:50～17:00
開催場所	産業文化センター 8階 第2特別会議室
出席者	川口暢子委員長、大野暁彦副委員長、土田周策委員、石垣時広委員、江口克己委員、渡邊辰巳委員、永田美帆委員、尾関純子委員、斉藤義雄委員、森田起宇委員、村瀬誠委員、中村俊夫委員
議題及び 審議・協 議結果等 の概要	<p>次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状の交付 3 市長あいさつ 4 委員長・副委員長の選出 5 諮問 6 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員会の運営について (2) 策定体制・策定スケジュールについて (3) 緑の基本計画の基本的事項について (4) 各務原市緑の現況について (5) 団体アンケートについて (6) 市民アンケートについて 7 その他 8 閉会
	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 <p>事務局より説明</p> 2 委嘱状の交付 <p>代表して川口委員に委嘱状を交付</p> 3 市長あいさつ <p>委員の皆様におかれましては、公私ともに大変ご多用のところ、緑の基本計画策定委員を快くお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より、市政にご理解、ご協力いただいておりますことに、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。</p> <p>総合計画での市民アンケートやワークショップにおいて、多くの方々に緑が豊かである、あるいは公園が多いといった評価をしていただいております。また、</p>

<p>議題及び 審議・協 議結果等 の概要</p>	<p>先日発表されました 2024 年度版の「永住したい」と思う岐阜県の街ランキングで No.1 に選ばれたのが、各務原市でありました。公共交通の利便性の良さや緑の多さ、都市と自然とのバランスを評価されたものだというふういきいております。</p> <p>今回この緑というものにつきましては、コロナ禍、あるいは頻発しております自然災害におきましてもこの緑の重要性というのは皆様方まず再認識をしていただけたと思います。緑の保全によって守られるもの、あるいは今年の猛暑日が続いておりましたけれども木陰の創出も緑であります。これまでの施策のもととなる平成 28 年に策定しました緑の基本計画におきましても、来年度は最終年度ということで改めて計画策定が必要になってくるということです。</p> <p>委員の皆様には、幅広い分野からお集まりいただいたところであり、それぞれのお立場、それぞれのご経験を踏まえて、様々な観点から、各務原の緑について議論を交えていただきたいと存じます。お忙しい中大変恐縮ではありますが、よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>4 委員長・副委員長の選出 委員長に川口委員、副委員長に大野委員をそれぞれ選出</p> <p>5 諮問</p> <p>6 議事</p> <p>(1) 委員会の運営について (2) 策定体制・策定スケジュールについて (3) 緑の基本計画の基本的事項について (4) 各務原市緑の現況について (5) 団体アンケートについて (6) 市民アンケートについて</p> <p>《事務局より説明》 《質疑意見》</p> <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に多くの項目について分析をしてもらっている。1つ1つの単体の分析が中心であるので、緑×人口のように都市計画とのクロス分析を行ってもよいのではないか。
---------------------------------------	---

議題及び
審議・協
議結果等
の概要

【委員】

- ・今回、緑の量は、基準以上にあるという分析をしていただいた。これからの10年を考えると大事なところは質の議論だと思う。その緑をちゃんと使えているかという評価が必要だと思う。そうすると今までの量的は評価のほかにも、評価軸を多様化させていかなければならない。
- ・パークレンジャーの活動など市の特徴的なところが見えてこないのので、緑地と活動の関わり方を見える化する必要があるのではないか。

【事務局】

- ・都市計画とのクロス分析には、クロスの項目も検討しながら次回以降の委員会でお示しできればと思う。

【委員】

- ・工場誘致した際の緑地についてはどうように対応しているのか。

【事務局】

- ・開発許可基準の中で、敷地の10%、接道の50%の緑化をすることになっておりますので、基準に応じた緑地は確保される。

【委員】

- ・都市計画マスタープランの委員会でも工場用地の確保の話があった。都市の更なる発展という観点で農地の土地利用の考え方もある。都市の発展と緑の保全と全て合致するわけではない。バランスを考える必要がある。
- ・都市計画マスタープランと同時進行で策定しますので、そちらの方向性を本委員会でも情報共有していただくと、土地利用と緑の保全の方向性を理解した上で議論ができるのではないかと思います。

【事務局】

- ・緑の策定委員会のみには出席の方にも情報共有できるように、今後都市計画の方向性についても本委員会でご説明したいと思う。

・

【委員】

- ・パークレンジャーの高齢化はもちろん、新規会員の確保は難しい。働いている方は平日の活動には参加できないので、そうすると活動の中心は高齢者になってしまう。
- ・ただ、活動の場に参加することで、いろんな人の話も聞けるしコミュニティの輪はパークレンジャー活動を通じて確保されていると思う。

<p>議題及び 審議・協 議結果等 の概要</p>	<p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パークレンジャーの団体数は増えているけど会員数は減っている。企業の登録も出てきているので、企業誘致とあわせて新しい工場が建ち、登録してもらうなどまちの変化に応じた活動への参加も増えるとよい。 <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの緑の基本計画で長い時間をかけ公園を整備して、都市の骨格がつくられてきたように実践することが大事。 ・計画をつくっても計画のままで終わってしまうことが多い。次の10年へ向けて何か実行させることが必要。そこを議論できればと思う。 ・デザインノートのような形で皆さんの活動を図面に落としとしていき、しっかり見える化していくことで、市内にこういう活動があることを知ってもらいさらに市に対して愛着が湧くようなきっかけがつかれないかということを提案したい。 <p>8 その他</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回委員会の開催時期を案内した。
<p>会議資料</p>	<p>資料1 各務原市緑の基本計画策定委員会委員名簿</p> <p>資料2 各務原市附属機関設置条例（抄）</p> <p>資料3 各務原市緑の基本計画の策定について（諮問）</p> <p>資料4 各務原市緑の基本計画策定委員会の運営について（案）</p> <p>資料5 各務原市緑の基本計画策定委員会傍聴要領（案）</p> <p>資料6 策定体制・策定スケジュール</p> <p>資料7 各務原市緑の基本計画の基本的事項について</p> <p>資料8 各務原市緑の現況について</p> <p>資料9 団体アンケート</p> <p>資料10 市民アンケート</p>
<p>備考</p>	